

部活動の地域移行を成功させるための重要な要素

1. 指導者の確保

- ・専門的な指導者の確保
- ・地域のスポーツクラブや団体との連携
- ・人材育成の体制構築

2. 地域との連携

- ・地域団体との協力体制
- ・民間企業との連携
- ・地域の実情に応じた運営

3. 財政的支援

- ・国や自治体からの支援
- ・参加費用の軽減
- ・持続可能な運営資金

4. 保護者の理解と協力

- ・適切な情報提供
- ・期待や不安の把握
- ・積極的な関与促進

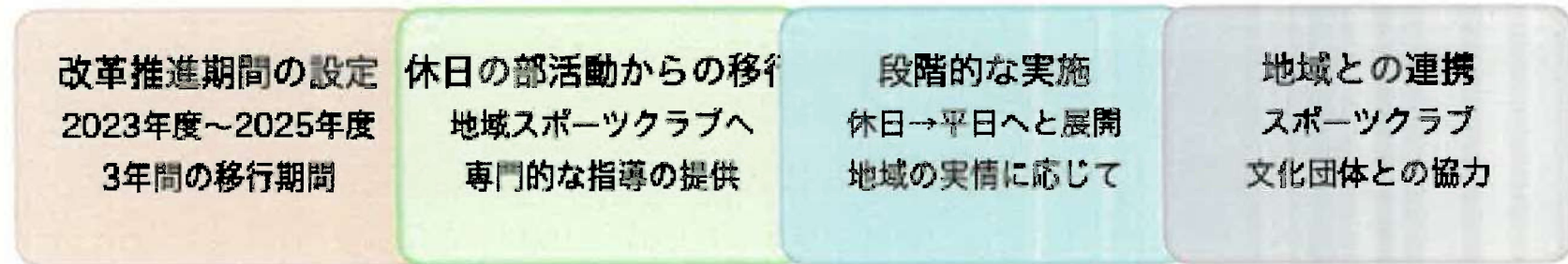
5. 参加者のニーズの把握

- ・生徒の興味関心の確認
- ・柔軟な活動提供
- ・満足度の向上

6. 体制の整備

- ・明確な役割分担
- ・運営責任者の選定
- ・予算の計画と管理

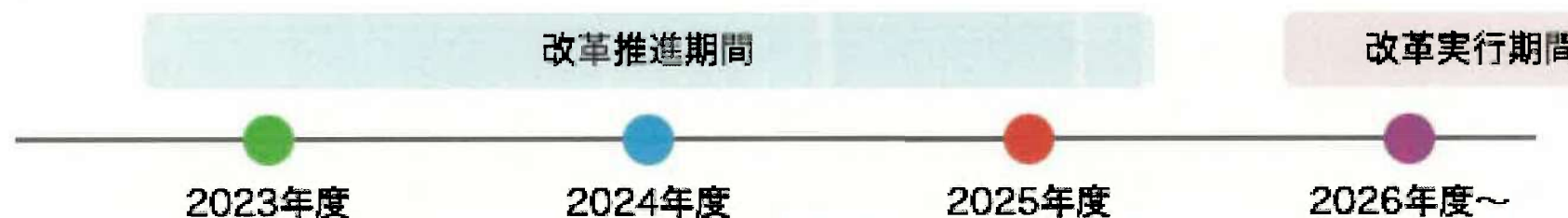
部活動の地域移行の進め方



課題と懸念

- ・指導者の確保
- ・運営ノウハウの不足
- ・地域によるインフラ整備の格差

部活動の地域移行スケジュール



休日の部活動移行

- ・地域スポーツクラブへの移行
- ・専門指導者による運営

平日の部活動移行

- ・段階的な地域移行
- ・教員の負担軽減

主な課題

- ・地域指導者の確保
- ・活動場所の確保
- ・保護者負担への対応

感震ブレーカーとは

感震ブレーカーは、地震による強い揺れを感知して自動的に電気の供給を遮断する装置です。
震度5強以上の地震を検知すると、家庭内のブレーカーを落とし、電気火災を防ぎます。

感震ブレーカーの種類

分電盤タイプ

- ・内蔵型: 5～8万円
- ・後付け型: 約2万円

コンセントタイプ

- ・5,000～2万円
- ・電気工事不要

簡易タイプ

- ・3,000～1万円
- ・電気工事不要

仕組みと必要性

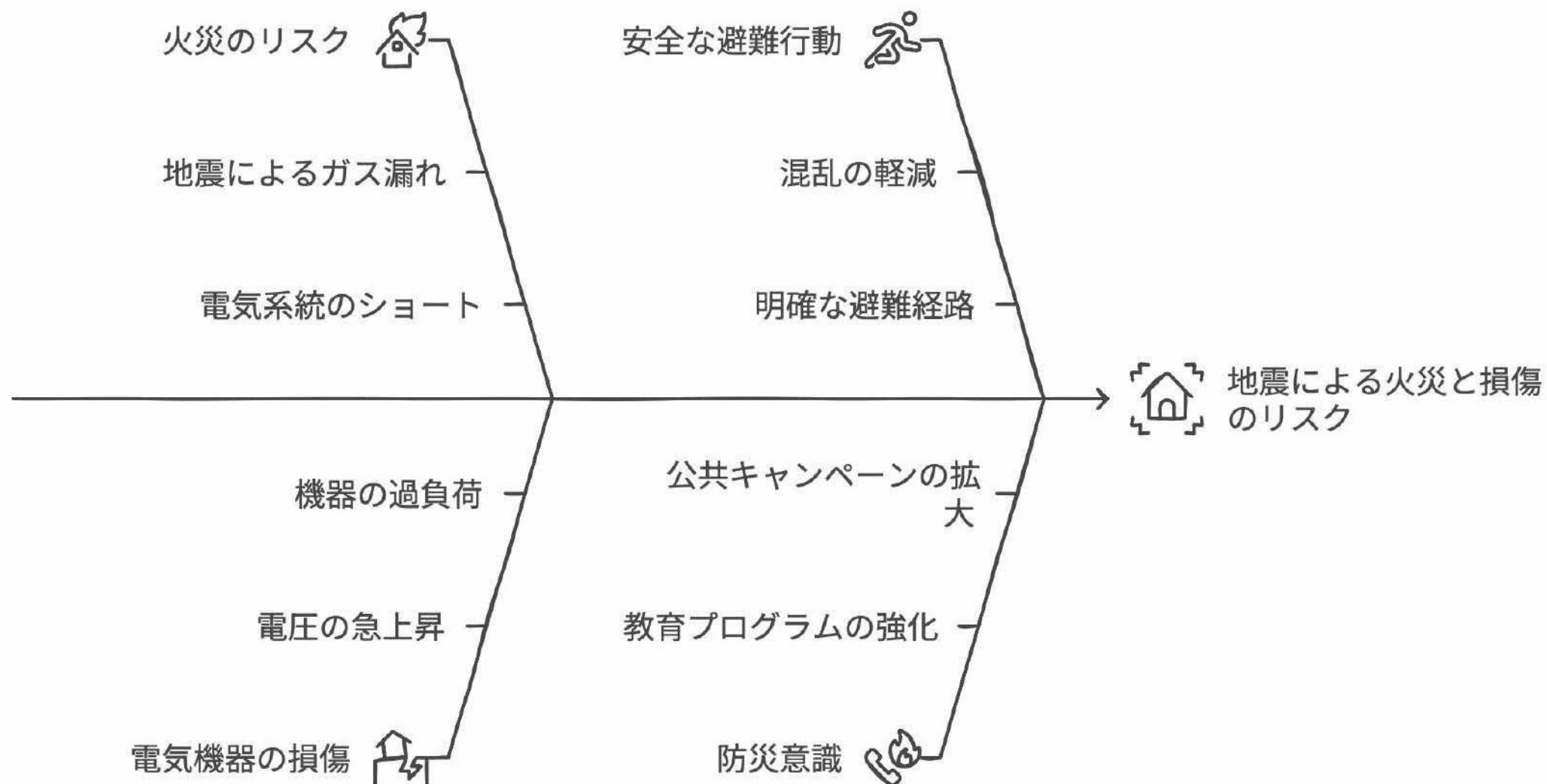
動作の仕組み:

- ・加速度センサーで地震を感知
- ・主幹ブレーカーを自動遮断
- ・通電火災を防止

設置の必要性:

- ・地震による電気火災の防止
- ・阪神淡路大震災や東日本大震災での
教訓を活かした防災対策

感震ブレーカーの重要性



エネファーム 家庭用燃料電池

エネファームは、家庭で電気とお湯を同時に生成する画期的なエネルギーシステムです。

発電

都市ガスやLPガスから水素を取り出し、酸素と反応させて電気を生成します。

給湯

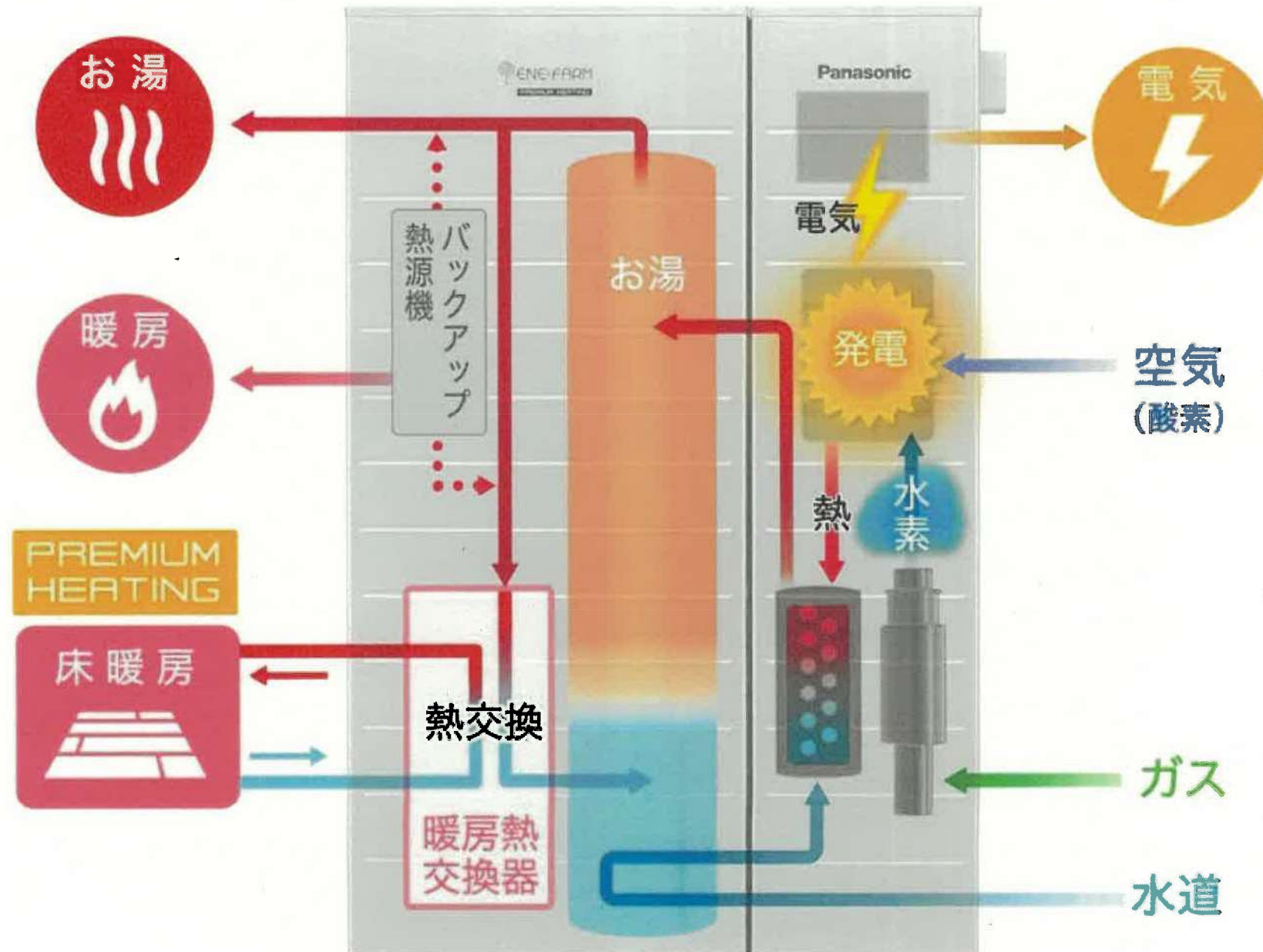
発電時に発生する熱を回収し、お湯を作ります。給湯はもちろん、暖房にも使えます。

エネルギー効率

発電と給湯を同時に行うため、エネルギーの無駄を削減。全体のエネルギー利用率は約90%！



エネファームの仕組み



エネファームの利点

